

1999

都市環境デザインモニターメッセ

実施結果報告書
1999年9月

都市環境デザイン会議

目 次

はじめに

1. 開催概要	2
2. レビュースケジュール	3
3. 発表・アンケート報告	
鹿島建設株式会社	4
株式会社コトブキ	6
株式会社竹中工務店	8
クリスタルブリック株式会社 ／クリスタルクレイ株式会社	10
大成ロテック株式会社	12
小糸工業株式会社	14
スプリットン工業会	16
岩崎電気株式会社	18
昭和鉄工株式会社	20
東芝ライテック株式会社	22
株式会社 I N A X	24
日本電池株式会社	26
ヨシモトポール株式会社	28
4. 参加会員リスト	30

はじめに

本レポートは都市環境デザイン会議（JUDI）主催の「1999 都市環境デザインモニターメッセ」の実施成果を記録集としてまとめたものです。

これまで都市環境デザイン会議（JUDI）の定時総会にあわせ「都市環境デザインモニターメッセ」の場を設定し、多くの製品、技術開発事例等のプレゼンテーション、モニター批評等を行ってまいりました。過去6回の「都市環境デザインモニターメッセ」に登場した製品等も100例を越えました。

今年は、昨年始めたレビューと題するこれまでのモニター事例のその後の実施事例報告、改良事例、新しい技術開発の方向性などの報告に加えて、新技術、新商品の発表をレビューの10分に対して、20分の枠として設定いたしました。

建設関連企業をとりまく厳しい経済状況の中で、参加申込み企業は15社を越え、当初予定時間枠を増やした上で新技術5社、レビュー8社に絞らざるを得ず、参加頂けなかった企業を含めて、改めて、各社の熱意に感謝いたします。

昨年の反省を踏まえて円滑な運営に努めましたが、短い時間配分でのプレゼンテーションでプレゼ担当の方々にはご苦勞をおかけいたしました。しかしアンケート表の記入はより充実したものとなり、参加企業の方々には生資料を提供し、今後の企業活動への参考になることと自負しておりますとともに、20分間のプレゼと質疑が予想以上の密度の高い交流となったことを喜んでおります。

ここに報告書をまとめて関係者の方々にお示しすることをもって、参加者の皆様ならびに事務局等で協力していただいた方々に御礼を申し上げます。

1999年9月

都市環境デザイン会議・事業委員会

モニターメッセ 担当 井上 正良

（アーバンデザインコンサルタント・代表）

1 9 9 9

都市環境デザイン モニターメッセ

開催にあたって

この十数年来、わが国においては魅力ある都市空間を創造する様々な取り組みがなされてきております。多くの公的機関や都市環境にかかわる企業において、都市景観を美しく、またうるおいのあるものにするための活動が行われています。

「都市環境デザイン会議」は、都市の環境をより良いものとするために、分野の違いを越えて積極的にこれに関与したいと考える人たちの集まりです。土木・建築・造園・デザイン・照明などの多岐にわたる分野、学会、行政、コンサルタント、設計事務所など多くの立場の人々の参加（今年1月1日現在で会員数532名）を得て、全国的な活動を行っております。これは、ひとえに皆様方のご理解、ご支援、ご努力によるものと深く感謝しております。

「都市環境デザインモニターメッセ」は会議の総会日にあわせ、1993年からはじめ、今年で7年目を数えます。本年度も、会議のメンバーら自ら社会的、専門的なモニターとなり、都市環境の開発、素材の供給、技術の開発などに関与される産業界の方々のご協力を得て、双方向型の情報交換の場として開催します。需要側の声、供給側の事情、取り組み方などの情報交換を活発に行う機会として、本メッセが良好な都市環境の形成に役立つことを願っております。

より豊かな都市創造と企業の発展に向けて、本活動の主旨にご理解いただき、積極的なご支援ご協力をお願いする次第です。

都市環境デザイン会議

開催の主旨

これまで都市環境デザイン会議（JUDI）の定時総会にあわせ「都市環境デザインモニターメッセ」の場を設定し、多くの製品、技術開発事例等のプレゼンテーション、モニター批評等を行ってまいりました。過去6回の「都市環境デザインモニターメッセ」を開催してきました。発表された製品等も100例以上に上ります。

今年は従来型のモニターメッセによる新技術開発、新製品等の発表と、昨年催したモニターメッセ・レビューとして実施事例、改良事例の報告、の2種類の発表形式の枠を設けました。モニター側とプレゼンテーション側の意見交換、交流の場としたいと存じます。

開催概要

名 称：'99 都市環境デザインモニターメッセ

開催日時：1999年7月17日（土）

予定時間

15:30～18:15（モニターメッセ）

18:30～20:30（懇親会）

会 場：モニターメッセ会場

東京・品川天王洲アイル東京 MI ビル

東京都品川区東品川2-2-4 TEL: 03-5462-4711

懇親会会場

第一ホテル東京シーフォート 28階

東京都品川区東品川2-3-15 TEL: 03-5460-4411

主 催：都市環境デザイン会議

〒113-0033 東京都文京区本郷2-35-10

TEL: 03-3812-6664

運 営：都市環境デザインモニターメッセ運営事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島2-17-15

TEL: 03-3816-5831 FAX: 03-3816-4249

モニター：各省庁・自治体担当及び関係者・都市計画

コンサルタント・建築設計事務所・各種

デザイナー・大学教授・建設業メーカー等

（以上、都市環境デザイン会議メンバー）

’ 9 9 都市環境デザインモニターメッセ スケジュール

1999.7.17

15:45 あいさつ
主旨説明

	会社名	プレゼン担当者	タイトル
発表順 1 15:50~16:10 ◎新作 (20分)	鹿島建設 (株)	柵瀬信夫	コンクリートで食物連鎖を蘇らす-エコロパネル
発表順 2 16:10~16:30 ◎新作 (20分)	(株) コトブキ	塩川和久	ユニバーサルサインと表示システム CAPPセラフェイス、CAPPセラメタル
発表順 3 16:30~16:50 ◎新作 (20分)	(株) 竹中工務店	野島 治 加藤 泰	軟弱地盤に対する地盤固化工法 Deep Cement Mixing Method-Land
発表順 4 16:50~17:10 ◎新作 (20分)	クリスタルブリック (株) / クリスタルクレイ (株)	丸山 昇 植野 裕 長濱 憲 橋本剛司 加藤 聡 山元 明	環境への負荷の少ない循環型社会の実現のために
発表順 5 17:10~17:30 ◎新作 (20分)	大成ロテック (株)	西沢典夫 玉木琢雄	ブロック舗装を大型車が走行する車道へ適用する場合の構築工法
発表順 6 17:30~17:40 ◎新作 (レビュー枠10分)	小糸工業 (株)	中込浩之 藤田淳一	歩行者の立場にたって、新しい視点から開発した 『歩行者用照明 KPSシリーズ』
発表順 7 17:40~17:50 ◎新作 (レビュー枠10分)	スプリットン工業会	小山 実 今津啓孝 林 賢 須田重雄 畑 実	地域の自然石の色合いを活かしたポーラスコンクリート製 スプリットンブロック
発表順 8 17:50~18:00 ◎新作 (レビュー枠10分)	岩崎電気 (株)	川上 幸二	光・環境・人との調和のために
発表順 9 18:00~18:10 ◎新作 (レビュー枠10分)	昭和鉄工 (株)	広田吉康 三輪 強	低コスト高機能景観製品 SHOWA URBANEX (FTシリーズ、SPシリーズ、GFシリーズ)
発表順 10 18:10~18:20 ○レビュー (10分)	東芝ライテック (株)	大山 敬	環境庁「光害対策ガイドライン」適合街路灯について
発表順 11 18:20~18:30 ○レビュー (10分)	(株) INAX	永松明子	人にやさしい街づくり 公共空間床編
発表順 12 18:30~18:40 ○レビュー (10分)	日本電池 (株)	吉村健二 渡辺 稔	新型ソーラーライト
発表順 13 18:40~18:50 ○レビュー (10分)	ヨシモトポール (株)	三石 傑 大島大八 飯島秀雄	特殊な骨材を使ったポラード

18:50- 講評 懇親会へ
18:55- 終了

会社名 鹿島建設株式会社

テーマ コンクリートで食物連鎖を蘇らす-エコロパネル

所在地 〒107-8388 東京都港区元赤坂1-2-7

TEL 03-3404-2011

FAX 03-3746-7209

プレゼン 柵瀬信夫
担当者



◆アンケート結果

- ・研究発表として見ると非常に興味深かった。片面当り+1.0mの施工幅がネックになりそう。
- ・非常に興味がある。高過ぎる（二重投資としても、新設としても）
- ・エコロパネル（穴あき、凹凸）の開発？ を目指すよりも、既存の護岸の活用としての技術（エコ及び安全強化）を開発すべきではないか。
- ・“自然との共生”を考えると非常におもしろい。
- ・大変ユニークな発想・取組みで、全国的に適用が可能であろう。日本の生態再生のためにはコストダウンと河川にとってはDepthの短縮が必要だ。流量断面の確保をどのように考えるかで、採用されるかどうかが決まるだろう。これから改修をやるところは大丈夫だが…。
- ・21世紀にむけて意義深い提案である。
- ・プレゼンテーションがよく、とてもわかりやすい。色（色斑）や型枠をより自然な雰囲気としてほしい。
- ・植物が生えるコンクリートもできるのでしょうか。
- ・すばらしい。日本の環境のため頑張って下さい。土とか石のイメージの色があると良いのでは。
- ・身近なものを変えていくこと自体が良いと思った。長期的な生態系の研究を続けてほしい。
- ・生態系の創世技術としては評価できる。次は護岸としての美観的な配慮をしてほしい。写真を観る限りコンクリート護岸はコンクリート護岸で石積みの美しさは感じられない。生態系の創世と美観の両立が大切。
- ・面白い。何故今頃との感がする。エコロパネルの名称は自然な感じが出ないので、カニパネル、ウナギパネル、ヤゴパネル、メダカパネル、ヘビパネルの方が良いのでは。
- ・生態系の基本的な考え方から始まり、実証実験を踏まえ生物にやさしいコンクリートの使い方の提案として評価できる。修景を考慮したパネルの開発が必要。ポーラスコンクリートとの組合せを考えたらもっと幅広い生物に対応できるのでは。
- ・基本システムは面白く、効果がありそう。但し、一般受けするカニ、ウナギだけでなく他の生物・植物との関係も重要。パネル凹凸のデザインが問題。パネルなのだからもっと大きな石積みやコブ出し、不規則な大きさの石風などのデザインが必要。
- ・とても良い！
- ・すばらしいアイデアとは思いますが、コンクリートパネルをもっと自然なものが作れたらと思います。
- ・コンクリートの成分とエコロジーの分析はありますか？ 何種類の型枠がありますか？（しゃれアナアキ

ズム護岸)

- ・アイデアも実用性も合格点である。今後デザイン性（特に場所性）を高める必要があろう。
- ・なかなか面白い着想。うまくいくことを期待する。デザイン的には長面のテクスチャ・目地等の工夫が要るだろう。
- ・モニタリングを続けながら改良を続けて下さい。目的とする他の生物にとって阻害要因ができるだけ少なくなるように。
- ・大変面白い。興味あるアイデア。普及に期待します。
- ・なかなか面白い。ほとんど冗談からできているのが面白い。
- ・出来上がりの姿を検証してみたい。標準型とデザインのキャパシティーの線引がほしい。
- ・カニの生態系を基にエコロジカルな新商品としての開発、大変興味深く聞きました。
- ・コストが見合わない。
- ・特に新しい技術ではない。（デザインについても考慮してもらいたい）
- ・10万/m²、少し高い。
- ・裏詰めに巣をつくることで、時間の経過により水道とならないか？
- ・面白い実験結果で、聞いていて楽しかった。いろいろ応用がきくと思うが、草など緑を生やすこともできるのだろうか？
- ・充分な観察、研究に裏付けられたユニークな製品。パネル、裏詰めの等の厚さによる河積減、これによる治水への影響が気になり。殊に市街地内の小河川の場合。
- ・プレキャストブロックの小単位のものをつなぐ方式の方が、小河川にも対応し易いのではないだろうか。
- ・構造諸元がよくわからない。
- ・生態系のサステナブルに有効。具体的でカニの話は分かりやすい。特に棚田の石垣には優れているがコストバランスがネック。
- ・都市河川では既存護岸に腹付けすることは需要が多いように思う。中～大河川の低水護岸（新設）に従来の接続ブロックのかわりに使えるものがあればと思います。
- ・日陰でなくても、このパネルの単独で効果があるか。あるとすれば、どの程度か知りたかった。
- ・表面仕上りのデザインが課題。（特に目地の表現）凝石では割り切れない気分が残るので、コンクリートであって自然になじむものにしてほしい。
- ・カニやカエルで遊んだだけで何が幸せ（彼等にとって）なのか考えると大変複雑な心境です。もっとスキットした共存の知恵はないものでしょうか。
- ・非常にユニークな発想で良いと思う。
- ・大変にすばらしいアイデアだと思う。このような製品が全国広く普及することが必要だと思います。生物連鎖が結果として、環境デザインの一環となる方向がすばらしい。
- ・有孔部が50m/m以上あるとのことだが、海または河口部で潮の干満がある部分では裏込の土砂が流出するようことはないか。その場合のメンテナンスは如何に対応するのか。
- ・弊社でも興味のある分野なので大変参考になりました。構造的に新しいものになると思うので発注者の許可をどのように取られているのかに興味があります。

会社名 株式会社コトブキ

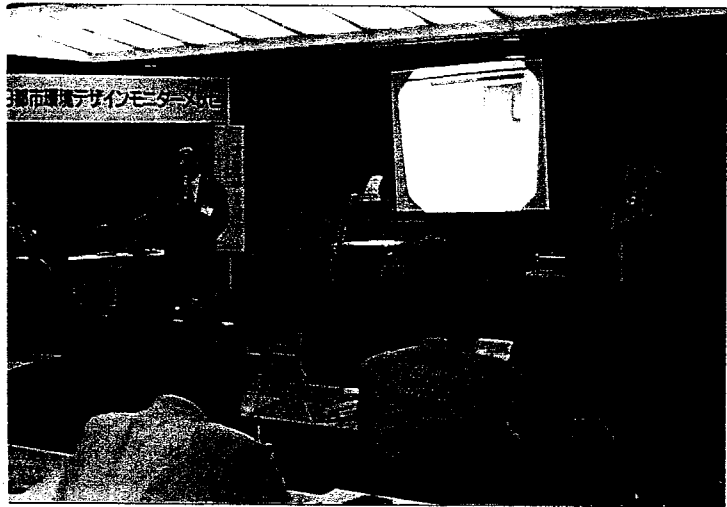
テーマ ユニバーサルサインと表示システム CAPPセラフェイス、CAPPセラメタル

所在地 〒105-0013 東京都港区浜松町1-22-5

TEL 03-3438-4531


FAX 03-5404-7267

プレゼン
担当者 塩川和久



◆アンケート結果

- ・ユニバーサル・バリアフリーデザインに対する取り組み方が浅いと思う。(E&Cプロジェクト等)家電・建具メーカー等と交流してもっと学んだ方がいい。
- ・点字を付けるとユニバーサルなのか？ 丸くするとユニバーサルなのか？ 高さの配慮のみなのか？ 音声・光は標準型とし、もてないのか？ 切り口が中途半端なのは。
- ・ユニバーサルデザインは対応性を高めることか、多様性をもつことか、それとも明確な機能や性能を示し、利用について適確な管理、フォロー体制をととのえるか、再考を求めたい。
- ・ホーローは割れないのか？
- ・表示システムの二本脚柱は気になる。設置工事の容易性を更に追求する必要があるのではないか。ベンチは少なくとも前傾型のもののデザインが出てきたことは評価できる。デザインがまだ洗練されていない。コストと耐久性のバランス問題が課題。
- ・ユニバーサル化というコンセプトの意味がひとりよがりになっている。
- ・形がイメージを持ち過ぎていて少し扱いにくい気がする。もう少し存在感が少ない形がよいのではないか。
- ・ユニバーサルデザインは、なかなかむづかしいですね。今後も期待します。
- ・ユニバーサルデザインは当たり前という時代がもうすぐ。従来のもののメンテでのユニバーサル化は？
- ・角度がいろいろ変えられることは良いと思うが、その部分の耐久性はどうか？
- ・ベンチの高さなど身障者に配慮した場合、健常者が使いにくくなることはないか？(バリアフリーとユニバーサルデザインと違いはどのようにデザインに反映されているのか)
- ・座面にねじりを入れて片側は健常者、他の一方は妊婦用と連続的に変えていったら良い。
- ・使う側の人に対する配慮が行きとどいてよい。但し、デザイン的にはマッチする場所とそうでない場所があるのでは。
- ・素材を選択できることはよい。車イスを代表させてユニバーサル化という解釈は狭すぎる。老人か軽度不自由者など割合多い人々の配慮も必要(手すりなど)。全体的に都会的デザインが多い。農村風景か地方に適するバナキュラーデザインも欲しい。
- ・情報先行でデザイン(フォルム)に個性がない。商品特性は良いが、全体バランスの話がない。
- ・木の質感をもっと取り入れて欲しいと思いました。

-
- コスト比較が欲しい。イニシャルコストとランニングコストそれらを合わせた総合コスト（長期サステナブルコストというべきか）
 - ユニバーサル化は健常者に不便・不快であったり、デザイン性が損なわれてはいけない。説明にもあったようにまだ過度的な印象がある。
 - 水飲み器は良いと思う。ベンチはいま一つ（デザイン面）。パネル・デザインはいま二つ（特に柱とパネルの関係）。
 - レリーフ型のサインシステムのバリエーションを開発して下さい。公園に植えられた樹木の葉、昆虫のレリーフなど視覚障害を持つ子供達の環境教育への対応が求められています。
 - ユニバーサルベンチは結構。メリットが明解。
 - 種類が多かったので、理解しにくい。
 - ユニバーサルというコンセプトの中で、ハンディキャッパーだけに集中しすぎるのでは？
 - ユニバーサル化の視点をどこに置くか、非常に難しいのではないか？
 - 水飲み形態が綺麗。
 - 高齢化社会を意識している商品であると感じた。
 - 実際に使用している写真がないので、使い勝手が分からない。（一般の人も使い易いものであって欲しい）
 - イスのユニバーサル化はあまり感心しない。
 - サイン全般について、当初の表示内容が変更となった場合、安価で追加表示ができる製品が欲しい。コーティングがなされている。→鉄の再利用時に問題は？（リサイクル時）
 - イスのデザインには、もう少し工夫が欲しい（高さ、前につんのめり程度など）。とりあえず、つくっている感じがする。もっと本格的デザインのことを考えては。
 - ベンチについて以下のようにいてノーマライゼーションに対応すべし。①高齢者、身障者と一緒に子供達も座れるベンチも隣につけることを考えるべし。妊婦は幼児と公園で座りたい。②弧状、鍵型のものも考えるべし。友人と一緒に座りたい。
 - 丸い＝やさしいという概念は判るが、デザインの面では？ シャープでもやさしいデザインはできると思う。
 - いわゆる「ユニバーサルデザイン」なのか紛らわしい。
 - ユニバーサルサインの配慮は認められるが材質感がつかみにくい。もう少し柔らかい材料の使用は？
 - 水を飲みたい時は、ペットボトルを持てば良いのでは？ ベンチは陳腐化しているかも。現実に必要なほどの程度あるのか？ コスト低減メンテの易さが必要。
 - 選択の幅が広がるのはとても嬉しいことです。多様な製品の開発を歓迎します。
 - ベンチの形がもう少し洗練されるべきでは。いかにもユニバーサル対応という雰囲気を感じられる。
 - 部品で変えられることはコトブキらしいが、もっと新しい設計手法は何かないですか。研究して下さい。
 - ベンチに座面にバネを使ったらどうか。 
 - ユニバーサル化の方向性は大変良いと思う。デザインが全体に丸形状は、それなりの意味を持っているものと考えられるが、デザインとしては一工夫が必要では。
 - ユニバーサルサインの国際規格はどうなっているのか。国内ではどうなっているのか。ハンディキャップの人々に対して共通の仕様になっていれば良いのだが。（現実は？）
 - 車椅子の人でも見やすいパネルというのは非常に良いコンセプトだと思いますが、一般の人には少々低すぎて見にくいと思います。また、弱視の人が使用するためには点字ブロック等で誘導するわけですが、その場合車椅子の人には不都合が生じるのでは？

会 社 名 株式会社竹中工務店

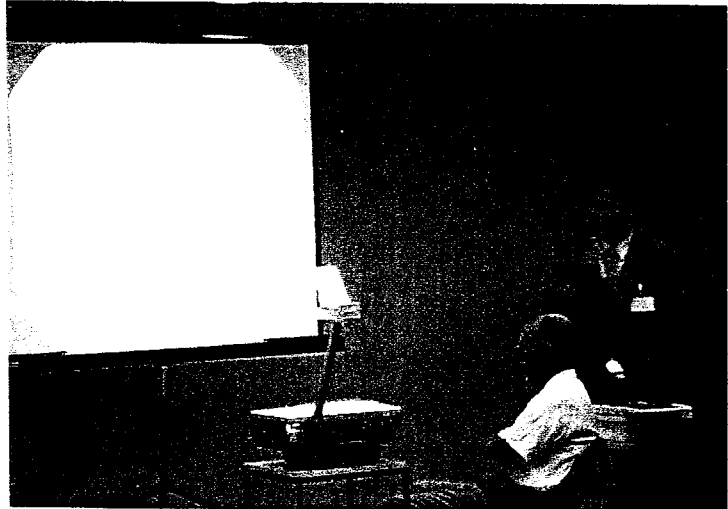
テ ー マ 軟弱地盤に対する地盤固化工法 Deep Cement Mixing Method-Land

所 在 地 〒104-8182 東京都中央区銀座8-21-1

TEL 03-3542-7100

FAX 03-3545-1845

プレゼン 野島 治 加藤 泰
担当者



◆アンケート結果

- ・現行の道路改修工事等への応用時にどの程度活用できるのか不明。工期、交通規制等の関連で独立基礎が多いのですが…。
- ・例えば、佐世保市の最終処分場の汚物流出の為の仕切り等々流用できないか
- ・全てに対応する技術を固持するよりも限定した範囲での技術であることを明確にすべきではないのか？（無理して建てるべきかという疑問から）
- ・土・砂という地表面の性質を保持するという観点からの考え方（植物の生育を露地で行うこと）との整合あるいは透水性を持つこととの調整をどのように行うかが、これからさらに課題として出てくるだろう。コストによって比較検討の対象となると考えられる。
- ・とても良い工法だと思う。
- ・地滑りの防止にも応用できますか？
- ・神戸の震災後、調査に行って現状をみたので、湾岸部もいかにこの工法が普及していれば、被害をすくなくしただろうということがわかる。頑張ってください。
- ・自立できるというメリットをもう少し活かせる方法はこれからあるでしょう。木造密集地域に対しては？
- ・建築物の地盤以外で使う場合、土壌など生態系（透水性）への影響について問題はありますか？
- ・DCMとDJM（千田さんの特許）との比較が不十分。
- ・セメント系固化材を用いた地盤改良工法は各種新工法が開発されている。用途に応じた設計技術、評価方法を望む。
- ・すばらしい工法。
- ・むずかしい話ですね。
- ・何でも固まるのですか？（地盤が）他の工法との基本的な違いはどこですか。
- ・大型ビル建設には素晴らしい工法。木造でも簡単にできる工法を教えてください。また既存（今、建っている）木造建築の土壌改良法を考えて下さい。
- ・技術としては可能性を感じるが、まだ応用例の積み重ねてデータを集める必要がある。
- ・専門でないのでよく分からず。硬化剤注入と効果はどうなのか、コストは？
- ・騒音、振動が少ない点が評価できると思います。
- ・なかなか知らなかったもので、勉強になった。

- ・構築物の基礎部分だけでなく、植栽や、〇〇ものの外構についてはどうなのか？
- ・コストメリットを感じない。
- ・公園など自然環境への影響に配慮しなければならない場所での応用も可能な工法も提案して欲しい。
- ・どういう地盤条件の時に有効なのか？ 小規模の建物（例えば住宅）でも有効なのか？ いろいろ知りたい。
- ・国や大企業においては臨海部の大規模工場のリストラに合わせて様々な都市開発を進めようとしている。これらの用地の多くは軟弱地盤であり、大いに活用が期待される。但し、これらの用地には従前の大規模な基礎等が埋まっており、これへの対応について要検討。
- ・貴社の技術研究及び実用化の努力に敬服します。
- ・平面的広がりのある空間（広場等）へ使えないか。
- ・他の工法と比較して長所を強調すべき。（オールマイティの工法ではない）高品質の事例の話が問題。
- ・素晴らしい技術です。
- ・擁壁に対する工法研究もお願いします。（景観的に影響大）
- ・ウォーターフロント整備に選択値が広がって今後の都市環境デザインに多くの期待が持てる。
- ・大変有効で素晴らしく、環境にも配慮された防災工法だと思う。



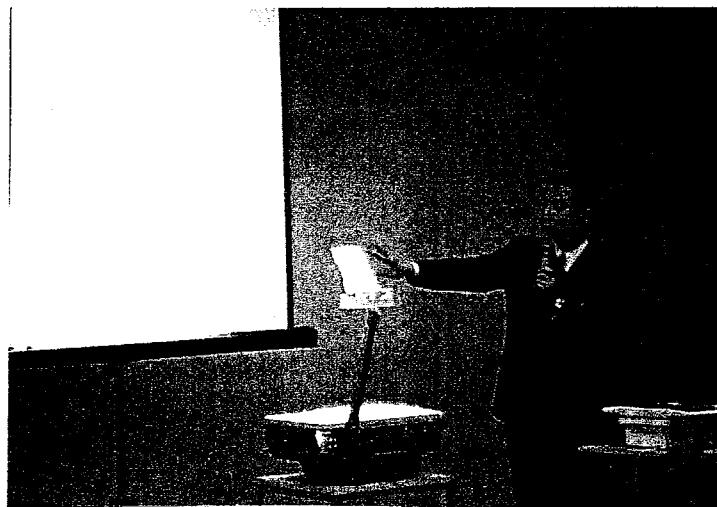
会社名 クリスタルブリック株式会社／クリスタルクレイ株式会社 共同提案

テーマ 環境への負荷の少ない循環型社会の実現のために

所在地 〒173-0014 東京都板橋区大山東町2-1 クリスタルブリック (株)
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-11-11 クリスタルクレイ (株)

TEL・FAX クリスタルブリック (株)
03-5943-7391 03-5943-7393
クリスタルクレイ (株)
03-3891-0021 03-3891-0024

プレゼン クリスタルブリック (株)
担当者 丸山 昇 植野 裕
長濱 憲 橋本剛司
クリスタルクレイ (株)
加藤 聡 山元 明



◆アンケート結果

- ・色調の注文への切り返し、お見事。機会があれば使いたいです。
- ・高過ぎる。ガラスカレットをそのまま焼き固めたらどうなるの、ポーラスができるのでは？ リサイクル品が普及する為には安くなければならない。自然を守る為にも安くしなければならぬ。
- ・焼却灰が廃ガラス瓶という主原料は永久にあり、塩化するという前提の開発は疑問あり。最初のガラスや製品を販売する企業が責任を持つこと、ガラス瓶などの永続利用システムと同時に開発を望む。
- ・全ての廃ガラスが利用できるのは面白い。透水性が必要では？
- ・まさに時宜になかった取組みであると考えられる。相当の重量・耐磨耗性・形状・透水性などについて今後さらに幅広い検討が要るのではないだろうか。
- ・エコ製品として評価できる。色・形とも扱いやすいものとなっている。
- ・表情が少し硬い気がする。色も少しきついのではないか。
- ・製造コストの積み上げだけで販値がつけられているのですか。補助がなくてもOKですか？
- ・環境共生の為、頑張って下さい。色はあまり良くないですね。色の自由度は？
- ・実現性のある事業をどんどんやってほしい。
- ・環境に配慮した素材として非常に評価できる。後は人工的でない自然な素材感、色彩をいかに表現できるかであろう。(環境に優しくて美しくないものは使いにくい)
- ・大変結構だと思います。
- ・21世紀に向け「持続可能な発展」を考えた商品開発は是非必要なこと。資源の有効利用、廃棄物リサイクルの観点から意義のある技術開発だと思う。商品的にも良い。
- ・価格が高く、財政難のこの時期にリサイクルの理由だけでインターロッキングの倍の値は説明しにくい。せめて1～2割高位にならないか。県事業は優先して使用など、行政側の協力が必要か。常備色のベンガラ色は、カラー舗装材と同じでデザイン上は問題の色。
- ・他のバリエーションが欲しい。焼前での提案ができれば…。
- ・処理上問題の多いガラスを上手に取り込めたものだと思います。
- ・建築解体をして再建する場合、既存建物のガラスを何t出せば、タイルがどの位安く購入できるかという極めて分かり易い。
- ・今後、絶対必要なリサイクル資源であろう。色や材質も使い易そうである。価格と需給の問題をどうクリ

-
- アするかが課題であろう。
- ・趣旨は非常に結構。だが、クリスタルブリック、クリスタルクレイとも産廃になった時はどうするのか。舗装材として少し固い。
 - ・単価が下がった事が導入に向けての推進力になることと思います。骨材の色を使って柔らかい色調が出ているものが導入しやすい。
 - ・エコ対策で非常に良い。全国的展開を期待します。
 - ・ブロックや板材にするだけではない使い方も考えて欲しい。
 - ・原材料が発生する場所と製品ができる需給バランス（地域）にプログラムが必要ではないか。
 - ・廃ガラス応用の新商品開発とリサイクル設計の提案と実績、大変素晴らしい提案だと思います。
 - ・他舗装材メーカーの製品がかなり似たようなものが多く、具体的にどの程度環境に優しいのか不明。
 - ・クリスタルブリックは、凍害性の問題はないのですか？
 - ・色・デザインのバリエーションが増えるとベター。
 - ・単価が高い。
 - ・容器包装リサイクル法、考え方は賛成。応援したい。素材の質感、色など魅力的なものであってほしい。
 - ・埼玉県の場合、公共工事について材料指定になっていると考えられるが、これから類似の企業、製品が出てきた場合どうするか。
 - ・クリスタルブリック、クリスタルクレイとも環境に配慮した舗装材として評価できます。舗装材以外にも活用できるのではないのでしょうか。
 - ・プラスチック系廃材の取り組みは考えられないか。（焼却灰でなく）
 - ・全国展開は？ リサイクルの時代に相応しい取り組みが素晴らしい。
 - ・この材料自体の再資源化は可能なのか？
 - ・再生使用の可能性あり？ コストの比較を知らせるべき。荷重はどの程度まで耐えられるか。
 - ・ブリック表面の仕上げ、現物ではやや不自然に感じました。タイル表面のような平滑な方が良いのかなとも思います。素材感を最も美しく感じる表面仕上げを見せて欲しいです。
 - ・少量の展開が可能になるように研究して下さい。
 - ・40厚でブロック強度とかみ合い強度は大丈夫か？
 - ・リサイクル商品として大変に理解し易かった。このような素材製品が、広く世間に認知されてほしい。技術的にも素晴らしいと思います。
 - ・色・形のバラエティはどうなっているのか。今後はコミュニティの歩道、広場等に使う場合、地域の人々がデザインできるよう型枠に工夫して参加可能な素材にしたらどうか。熱反射はどうか。
 - ・埼玉県以外の県から依頼された場合には、どのように応じているのでしょうか？

会社名 大成ロテック株式会社

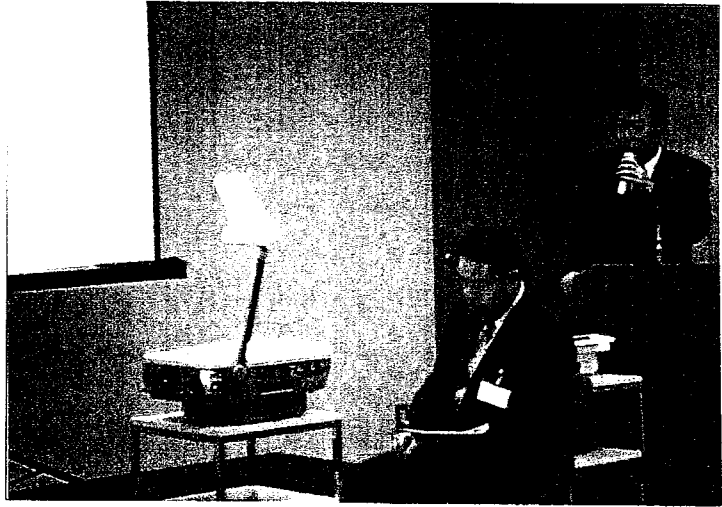
テーマ ブロック舗装を大型車が走行する車道へ適用する場合の構築工法

所在地 〒104-0031 東京都中央区京橋3-13-1

TEL 03-3567-9648

FAX 03-3561-5342

プレゼン
担当者 西沢典夫 玉木琢雄



◆アンケート結果

- ・コスト高が残念です。
- ・インジェクト層にガラスカレット（スペーサー）を応用できないか。高い。石だけでなくブロック、平板等の場合でも通行止めにするのが難しい所への適応性が高いのでは。
- ・アスファルト系型層の中のはすでにある。コスト面でも新規の設計や施工によるものに相当とは思われないので、メンテナンスや維持管理上での有効性を明確に打ち出すべきでは？
- ・透水性も出来れば良いですね。
- ・これからの市街地の再生には、歩行者優先の領域である場所を明示しなければならないと考えるので、大いに使えろと考えられる。大面積施工におけるコストダウンができるかどうか鍵になるだろう。しかし本格的なものをつくる時の対象であるようだ。
- ・工法はよさそうだが高いか？ ￥20,000？
- ・ヨーロッパでは車道のピンコロ目地アスファルトの様に黒かったのですが、研究してみたらコストは下がりにませんか。
- ・補助金を入れて、高意匠の床にしてもメンテで自治体が泣くことはもうなくなりますか？
- ・長期的耐久性は？ 繰り返し荷重に対する耐久性は？ 冬場は施工できるのか？ 歩掛りは20,000㎡/日？ 材料が高い。
- ・従来、不安が多くて車道部への自然石舗装ができないケースが多かったが、その可能性が大きくなったことは評価できる。目地透水などが可能になるとより利用の機会が増えると思われる。
- ・注入時の技術管理が大変そうですね。自然石の種類別、なじみ度の違いもあるでしょうね。
- ・交通量区分どこまで対応できるのか。区分によってインジェクト層の性能は同じで良いのか。実験データが欲しい。
- ・すばらしい工法だが、値が高すぎる。
- ・話が長い。もっと要約して話して欲しい。
- ・デザインの自由度を大幅に改善できると共にトータルライフコストの低減にもつながっているすばらしい工法だと思います。インシヤルコストは高いがトータルコストで見れば安いと考えます。
- ・10万円/㎡は高すぎます。補修は止むを得ないですが新設の時はもっと安くしないと使えません。
- ・既に実績もあり景観と強度を兼ね備えてると思われる。透水性にはできるのか？

- ・もともと天然石を車道に入れること自体特殊なケース（道路）と考えたい。ではあるがインジェクト工法に関しては感心がある。（あまりにも不法量に車道に石を入れている故）
- ・単価がもう少し下がる方向に向けて、開発を願いたい。
- ・コストダウンが鍵ですね。工夫を期待します。
- ・良く考えられているような…いないような…。
- ・一番質問が多かった。それだけ多くの人が興味を持っている。
- ・工法の特性を整理してアピールされたらどうか。
- ・目地幅が広くなりすぎるのではないかと不安。
- ・施工費と施工賃のコストメリットを感じない。
- ・補修についても石をはがされないうまま、この工法を使えるように更に工夫してはどうか。例えば目地部、空練り部の目地部両側を水あるいは圧の高い空気等で除去して。

目地及び下の空練部を飛ばす部分



- ・車道の石舗装の問題解決に有効な工法と思います。説明が補修に偏り、新規舗装の話が少なかったように思います。コスト面でも説明が判りづらかった。
- ・排水性能面では？ 2万/m²は高い。既設ブロック舗装へのそのままでの適用は？ 補修だけ？ 目地が広すぎる？
- ・透水性の開発は？
- ・価格が高い。
- ・天然石でなくても使える工法があるように思えるが。自動車、歩行者共存道路に有効。
- ・目のつけ所は素晴らしい。イタリアの敷石の技術にやはりアスファルトを使うものがあったような気がします。もっと簡便な方法で。
- ・施工上、石の汚れが心配ですが大丈夫でしょうか。どれくらいの荷重が可能ですか？ 材料代を安くして下さい。需要は充分にあると思います。
- ・施工費が高すぎる。
- ・今まで我々が知っていた工法に問題があったことを十分に理解できた。車道への新工法に期待が大である。
- ・アスファルト乳剤の粘性によっては舗石の下に十分行きわたらぬのではないか。その結果、空気が残留した場合夏期など気体膨張して、長期間に舗石が動いて歩行性、車の走行性に影響を与えないか。



- ・自然石以外（レンガ、インターロッキングブロック）への応用は可能か。空練りモルタルの代替品としては考えているのか。透水性はあるのか。機械（車）が入れない場合はどうするのか。

会社名 小糸工業株式会社

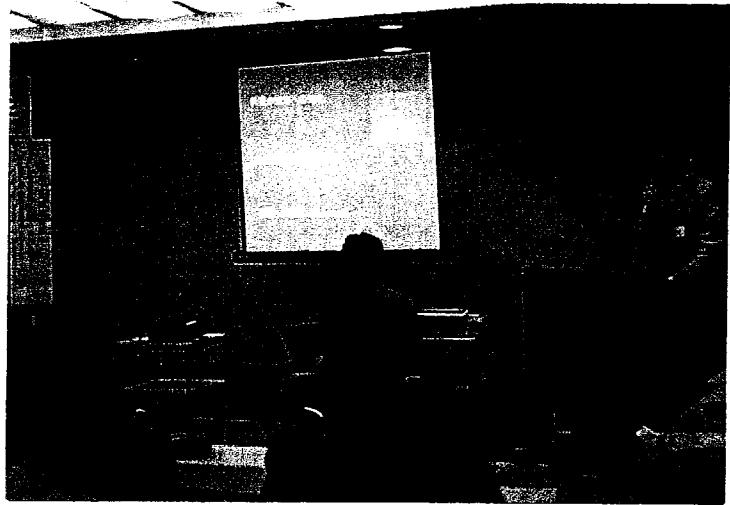
テーマ 歩行者の立場にたって、新しい視点から開発した『歩行者用照明 KPSシリーズ』

所在地 〒108-8723 東京都港区高輪3-5-23

TEL 03-3443-6174

FAX 03-3445-0674

プレゼン 中込浩之 藤田淳一
担当者



◆アンケート結果

- ・ディテールはいいデザインだと思います。照明環境への提案に深みがない。（結局ポールは増える）岩崎電気の発想でこのデザイン（見てくれ）だったらと思う。
- ・特に目新しい部分を感じられなかった。
- ・一般的に路上に植物を設置しないよう、設合性や一体化を図っていると思われるが、単独性での提案は機能上や照明の必要性という点でも検討が必要ではないか？
- ・デザインと配光に細かく配慮されている。価格は高そうだ。
- ・デザインが過剰でないところが好ましい。余分な光をまきちらさないことは基本的に重要なことである。次に望むのは光の成分の研究によって、緑に光が当たった場合の植物生育等への影響の研究との調整があるのではないか。
- ・なかなかよい製品ですが、値段が高そうですね。カタログには価格を入れて欲しい。
- ・形がシンプルで美しい。色も使い易そう。
- ・光を「まきちらす」のでない、このタイプは環境に優しいですね。虫が飛んで来るのも少なく、下に虫の死骸が少なくなりますね。
- ・素材を環境にやさしいものを使用してはどうか、メンテナンスは簡単か？
- ・既製品だけでなくカスタムデザインやイーजीオーダーデザインへの応用（対応）に期待します。（デザイナーとして照明器具そのものをデザインする機会が多いため）
- ・1/28.5の実現がそんなに難しいのでしょうか？
- ・人間のための道路という原点に立った商品として評価できる。
- ・都会的なデザインだけでなく歴史都市、地方小都市や農村などに適するデザインも欲しい。全国同じような都会的デザインでよいのか。ハイポール照明など大量ベーシックな照明に導入してはどうか（安価で）
- ・歩道に照明柱が必要ですか？ 全体で照明計画をすると必要なくなる。
- ・技術的に裏付けされた非常にすっきりしたデザインだと思います。
- ・大変結構な開発だと思います。もう少しバリエーションが欲しい。デザイナーが参画する条件は整っていますか？
- ・車はヘッドライトがあり、歩行者は明かりがない。その点に着目したことは評価できる。デザインも良く使い易そう。価格が問題か？

-
- 考え方は良いとしてもデザインが今一つ。外部のしっかりしたデザイナーに相談していますか。G K に頼んではダメ。
 - デザイナーとの共同デザインが成功している。
 - きれいな街灯ができましたね。
 - インダストリアルデザインよりでは…。もう少しソフトな感じが欲しい。
 - より細かい密度で対応できるようなバリエーションが出来れば、デザインの的にもおもしろい配置をできる場所ができると思う。
 - デザイン的にも機能的にも優れている。
 - わかりやすいプレゼンテーションだった。
 - テーパーポールは5m 以下のポールの場合はあまり必要性がなく、むしろ不自然。言い換えるなら、テーパーポールはハイポールの時に美しく見えるということ。
 - すばらしいデザイン照明と思います。
 - 設計仕様に応じて配光パターンを変えられるようにした方が良い。製造継続期間は？
 - デザインがすっきりしている。
 - ちょっとデザインがレトロ方向で使い易いかもしれませんが、新しい考え方を主方向するものとしてはもう少し違った形があったのではないのでしょうか？ 低位置型の車道照明が少なく残念です。なんとか開発して下さい。（難問がたくさんあると思いますが）需要はたくさんあります。ある物件で、真珠の養殖場への光害が問題になっています。
 - 新規工夫について理解できた。器具デザインに一工夫が欲しい。
 - 歩行者、運転者のもとより管理者、照明の影響を負に受ける人々に対してもよく配慮されている。
 - 非常にわかりやすい説明とパソコンを使ってのプレゼンテーションがさすがだったと思います。照明のデザインは非常に景観に影響を与えるし、はり紙をはれないようにするのは良いと思います。私のような女性にとっては暗い道は歩くのが怖いのですごく嬉しかったです。

会社名 スプリットン工業会

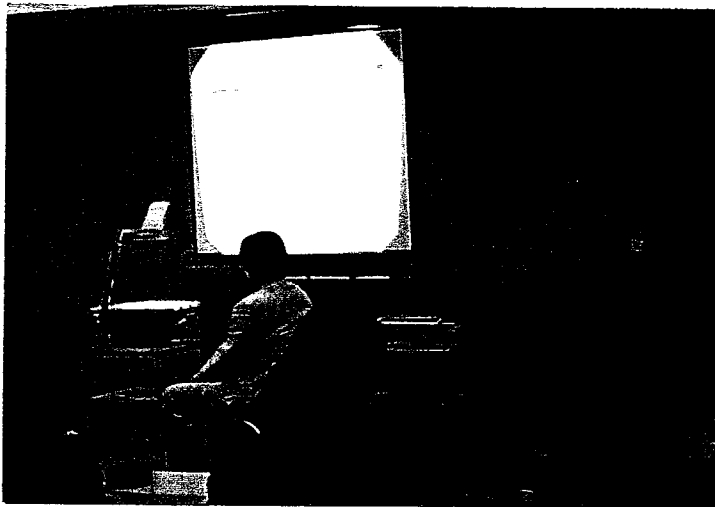
テーマ 地域の自然石の色合いを活かしたポーラスコンクリート製スプリットンブロック

所在地 〒279-0002 千葉県浦安市北栄4-20-10

TEL 047-381-0661

FAX 047-381-1016

プレゼン 小山 実 今津啓孝
担当者 林 賢 須田重雄
畑 実



◆アンケート結果

- ・ニュースプリットンのカタログ、色合いを説明するには使用している紙質、印刷が不適でよくわからない。違った資料が欲しいです。
- ・ブロック積工法のもののかえる発想はないだろうか。
- ・コンクリート、セメント業界が当然の事として取り組むべきことで、今までが強引に進めてきた結果の反省とて思える？
- ・擁壁に望みたいのは、とにかく人工物としての主張が大面積になると強くなり過ぎる点の改善である。植物や動物の生育活動等が可能になる部分、要素をどう組み合わせるかを細かなものだけでなくソイル・ポケットを持つ部材などもう少し大きく考えるべきではないか。
- ・自然石の雰囲気に近い。色合いもカタログではよさそうに思う。どこかで使ってみたい。
- ・もっと大きな骨材を使えませんか。
- ・コンクリートの壁があまりに人工的で、色も悪く困ったもんだと思っていたが「ふるび」もなって良くなるね。機能も入って嬉しいです。
- ・打ちっぱなしのコンクリート面を活かしてこのようなポーラスコンクリート面に打ち変えられないか検討して下さい。
- ・景観、生態、構造のバランスに配慮した護岸素材として評価できる。但し目地が均質かつ表面が平滑で人工的な印象は否めない。
- ・強度が心配です。
- ・周辺環境との調和を考えた良い製品といえる。又、基本色は一色としその中で微妙に色を変えた点がより自然観を出している。特に植物の生育を考えたポーラスコンクリート製品は色よりも自然観を演出できて良い。
- ・素晴らしい材料。もう少しコブ出しが出来れば更に良い。中景、遠景では単調で平坦なコンクリート壁に見えるため。
- ・よりセメントを使っている感じのしないものの開発をお願いしたい。
- ・種石はデザイナー側でどの程度選択できるのでしょうか？ 景観形成に自由度はありますか。
- ・景観面、環境面でメリットが感じられる。植物だけでなく昆虫、小動物などにも有効か？
- ・おっしゃる通り空積みなど積み方をもう少し崩した方が良い。

- ・ポーラス構造が表面だけでなく、背面までの構造を持ったものの開発を試みて下さい。
- ・撒き土の工夫、是非たくさん実現して下さい。
- ・なかなか自然とのとりあわせがおもしろかった。
- ・傾斜の異なる法面（特にゆるい）にも安いコストで使えるようなバリエーションも欲しい。
- ・環境に調和している商品。
- ・地域色を出すには各地域の骨材（砂利、碎石）を使用するようになると良い。強度の問題もあるが骨材の大きさにも変化を持たすことができればデザイン的にももっとなじみ易くなる。
- ・もっと草が生えるように工夫してはいかが。さもないとかえって汚く見え、雑草として抜かれてしまう。
- ・もう少し凹凸があると自然な感じになるのではないのでしょうか。
- ・サイズのバリエーションが少ない。
- ・目地の変化（自然さ）は可能か？
- ・ポーラスとニュースプリットンを組み合わせて用いることは可能か？
- ・耐久性。河川の流下能力への影響は？ 粗度を下げる能力あるのでは？（河川工学の視点）
- ・目地の線がどうしても硬く見えてしまいます。凹凸を大きくするなど、目地の直線が目立たないよう工夫して欲しい。
- ・石積みを超える大きな擁壁を自然に見えるようにしたいと考えてます。仕事になりましたら、御連絡します。
- ・顔料を使用しない地場産の自然材を利用する方針を今後とも、もって欲しい。
- ・工法、工期的な点を考慮すると石垣状ではなくもっと大きなパネル〔例えば（W）1.5×（H）3.0〕としたらどうか。特に擁壁などについては有効と思うが。



会社名 岩崎電気株式会社

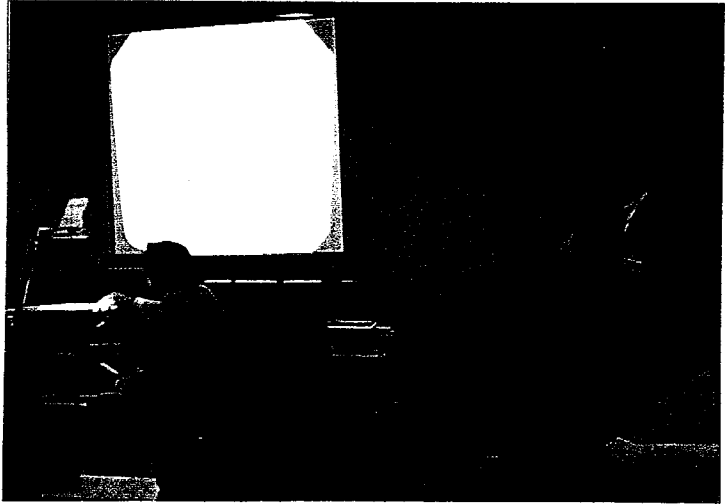
テーマ 光・環境・人との調和のために

所在地 〒105-0014 東京都港区芝3-12-4

TEL 03-3452-5351

FAX 03-3769-8424

プレゼン 川上幸二
担当者



◆アンケート結果

- ・小糸工業の製品に比べて灯具のデザインは良くないと思う（野暮ったい）。が、アーム無しによる配光など、照明環境、全体工程、輸送面にまでつっこんだ提案はすばらしいと思います。これでディテールのデザインがもっと良ければ…と思います。
- ・コスト？
- ・器具のデザインではなく、光源的ものの研究、配光の為の反射や効率について技術開発に徹して欲しい。又、照明を必要とする環境、適正量や位置についての指針を明確に。
- ・配光制御を考えた器具でなおかつ光の効率が高くて、大変好感が持てる。
- ・省エネルギーで無駄を省くという点については全面的に賛成。また当然のこと。デザイン的には存在をあまり主張しないという域に達するのに今一步のような気がする。
- ・良い製品です。反射光を利用するタイプは汚れが気になります。
- ・経済的な、効率の良い点は評価できる。
- ・省エネ、高効率が良いです。
- ・床を明るく、楽しく、省エネ策開発に色々努力されているのが良くわかりました。
- ・他商品とどのように違うのか、デザイン性はどうかもう少し詳しい説明が欲しかった。モデル事業の成果は評価できます。
- ・小さな光源で効率の良い照明を実現する試みとして評価できる。カスタムデザインへの応用についてもその可能性を知りたい。
- ・大変結構でした。
- ・より効率的な光の使い方と省エネルギーを達成している点が評価できる。
- ・すばらしい製品。水銀灯の風景をできるだけ少なくするために是非導入したい製品で、各自治体への情報提供をして欲しい。
- ・人にとっての照明環境は違うのでは？ 虫は種類によって感じる光が異なる。
- ・大幅なコストダウンが図られていると思います。
- ・消費電力比較だけでなくコスト（維持管理費）比較をして欲しい。
- ・技術的には相当高いと考えられるが、実際の都市の中で目立ち過ぎないか。あるいはメンテ上問題（鳥害やいたずら、汚れ）はないか？

- ・灯具デザインがもう少しはっきり主張があってよい。全体的に無難。
- ・省エネ型は今後注目されると思います。デザインもすっきりしている。
- ・省エネ（省電力）にコストダウンを組み合わせられないか？
- ・道路面を光らせるという原則を忠実になるところなのかと感心した。
- ・ストーリー性をデザイナーとともに開発していけるレベルに近づいているので協働の方法を探って欲しい。
- ・夜道でも危なくないのでは？ 発想がすばらしい。
- ・アーム部のデザインをもう少し軽い表現とするともっとよくなる。テーパーがない方がよい。
- ・パズーは素晴らしい器具だと思う。アームレスもコストダウンになる。ミティスは少しくせのあるデザインで使いにくい。
- ・製造継続期間は？
- ・地域・風土性を配慮可能なデザインも必要。
- ・デザインも性能も優れた製品だと思います。特にミティスのデザインがいいと思います。
- ・低位置型の車道照明が少なく残念です。なんとか開発してして下さい。（難問がたくさんあると思いますが）需要はたくさんあります。ある物件で、真珠の養殖場への光害が問題になっています。
- ・省エネタイプでよい。
- ・高い技術レベルをもって光源と器具との対応を研究し、製品化されていることがよく理解できた。
- ・省電力でより効果的な照明ができることは素晴らしい。故障が生じた時のメンテナンスのし易さがどう考えられているか。



会 社 名 昭和鉄工株式会社

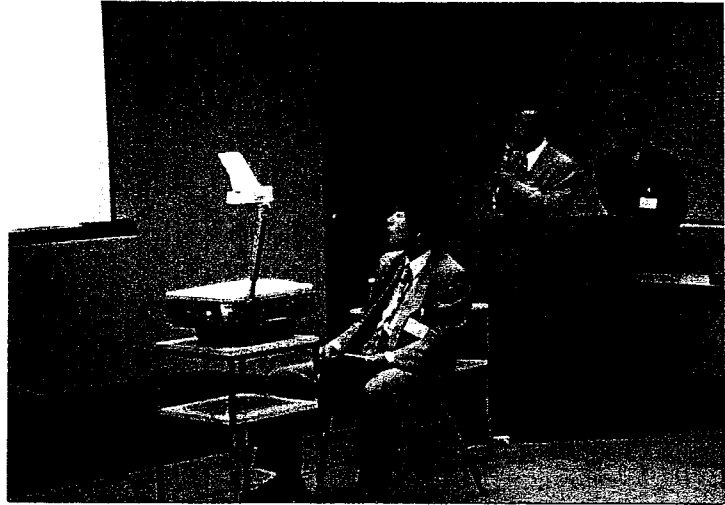
テ ー マ 低コスト高機能景観製品 SHOWA URBANEX(FTシリーズ,SPシリーズ,GFシリーズ)

所 在 地 〒812-0051 福岡県福岡市東区箱崎ふ頭3-1-35

T E L 092-651-2939

F A X 092-651-0558

プレゼン 広田吉康 三輪 強
担当者

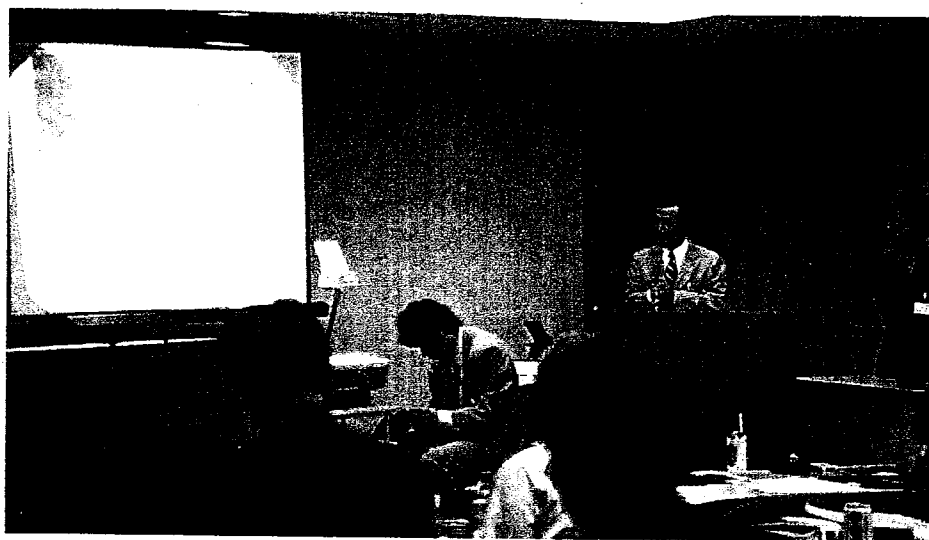


◆アンケート結果

- ・メーカー色がよく出たいいデザイン（システム展開含め）と思う。ストーンキューブファニチャーは？建築分野ではいいと思うが土木分野で使えるとは思えない。
- ・鋳物の良さは何だろう。どこへでも適用するものではない。FTは断面構造は魅力的だがシルエットはつまらない。キャップ状にしたら。石との組合せはもっとシンプルで応用のきくデザイナーの意欲を誘うような部品商売にしたら。
- ・失礼かと思うが、形態面に配慮することより、材料・技術開発を中心にどの場面で、何に鋳物や加工技術が必要か察して欲しいです。
- ・鋳鉄でこんなにスッキリできることに驚いた。
- ・モジュール的に全体を統一的にそろえるという思想は良い。さらに低コストのものが開発されるのならばもっと良いだろう。思想は良いが何か強いアピール力が感じられないのは何故だろうか？ 緑の存在や、河川の水面や、車道を走る車などの見え方について主張がないせいだろうか？ 更に深めてもらいたい。
- ・良い製品ですが、照明灯50万円は低コストとはいえない。
- ・SPシリーズはやや形が重いイメージか。使う場所が限定される。
- ・デザインがよくなりましたね。
- ・特に鋳物において、衝撃などの耐久性はどうか？ デザインは良いと思います。価格表を付けて欲しかった。
- ・システム化した製品の評価はできるが、一部でもカスタムデザインへの対応が出来ると利用する機会が増える。
- ・ストーンキューブは良い発想ですね。
- ・生産効率を考えコストを低減している点が良い。しかし一方で地域性等を考えることも必要か。
- ・FTシリーズはシンプルでベーシックデザインとして普及できる可能性大。素晴らしい。デザイン力が高い。SPシリーズも良い。もう少しバリエーションをつけてもよいかもしれない。特にサイン支柱。
- ・もっとバリエーションがデザイン展開できるのでは。もったいない。
- ・石材の端材を使った製品は面白いと思います。
- ・石のポラード4~5万円/本というのは決して安くありません。もっと低価格のものをつくって下さい。
- ・ユニットで様々なストリートファニチャーをつくるという発想は素晴らしい。デザイン性も良く、価格が妥

当ということで今後どんどん使われると思う。

- 石のボラードが少し重い。組合せの鋳鉄キット、余計なものがあるが。そこまで統一する必要はない。(例えば パーゴラ)
- 鋳物が低価格になってきた努力に敬意を表します。
- 工夫でコストダウンはOK。サスティナブルの最終課題はシンプルローコストだと思います。次の課題はシンプル。
- デザインの方向が一方的なのが気になる。もっと含みのあるものが望ましい。
- あまりバリエーションを増やさないで対象とする分野(ボラード等)を絞ったらどうか。
- デザイン的に美しい。
- 多様性がある。
- 鋳物の限界を越えたデザイン。殊にG F シリーズに今後の可能性が期待される。他材料との組合せデザインをもっと展開されてはいかがか。
- FTタイプのシステム(可動型)は感心させられました。しかしもう少しシンプルなデザインにならなかったのでしょうか。
- 製造の継続性?
- 支柱のウッド感覚の商品化は可能か? 社寺の周辺環境にマッチさせたいため。
- 防護柵は価格的に高いと思う。
- ステンレス製URBANEXはどうしても光の反射が強すぎるのが気になります。街中や公園にステンレスは似合わないのではないのでしょうか。
- デザインが良いと思います(SP、GFを除く)。SPシリーズのデザインはちょっとシステムの表情が強く機械的です。もう少しやわらかさが必要では。
- 厳しい時代において低コスト化をはかり、良質なデザインを今後とも頑張って欲しい。
- モジュール化したポールはフレキシブルで良い。



会社名 東芝ライテック株式会社

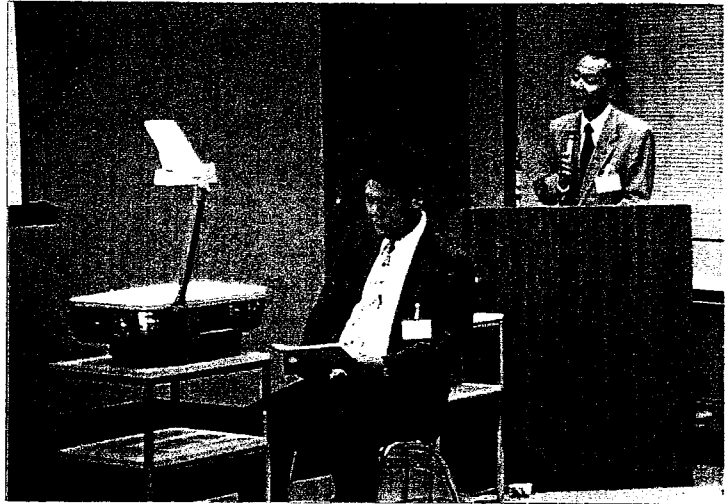
テーマ 環境庁「光害対策ガイドライン」適合街路灯について

所在地 〒140-8640 東京都品川区東品川4-3-1

TEL 03-5479-3953

FAX 03-5479-3959

プレゼン 大山 敬
担当者



◆アンケート結果

- ・他社と同様な点ですが、どの場面でどんな照明が、なぜ必要なのか、これまでのものは何が、なぜ問題なのか示して欲しい。問題点を示すことを業界として検討を希望する。(環境庁に示す姿勢で)
- ・全て配光制御されると賑わいが無くなるのでは？
- ・やっと当たり前のことができるようになったのですね。しかしながら全国でのエネルギーの無駄使いを考えると、いかにこの方向での環境照明に切り換えていくかが問われることになるでしょう。そのためには交換品の引き取り等を含めたコストの考え方が必要になる。難しいが行政財政力に限界がある今、何かの工夫が必要。
- ・デザインの的に優れているとは言えない。同様の話を3件聞くのはつらい。同テーマでも独自性のある開発が欲しい。
- ・機能的にはとても良くなっていると思うが、形がまた色々多くなり過ぎると、景観は混乱する恐れもある。
- ・発表のOHPの写真はわかり易く、効果がよくわかった。カタログ配布があればもっとよかったのでは。
- ・更なる技術改善をお願いします。住民へのアンケートは今後も続けて商品へいかして下さい。
- ・光害や環境(省エネルギー等)への配慮は不可欠なものでその取組みは評価できる。あとは器具のデザインに如何に柔軟に対応させるかであろう。
- ・なかなか良いですね。
- ・全国的に是非無駄な光もれを防ぐことが大切。このような試みを今後とも続けて欲しいと思います。
- ・無駄なエネルギーをなくし、コストダウンにつながっているのは感心しました。
- ・上方光束0に抑える努力は大変結構です。
- ・他の照明メーカーに比べて配布資料がなく、プレゼンテーションも地味であった。技術力は伝わるがデザイン性があまりよくわからない。
- ・大切な取組みだと思う。勉強になった。
- ・光害対策のみならず、省エネに向けて商品開発されている点が効果を発揮している点、よく理解できました。
- ・ローコストを！！
- ・要請に対する模範解答になっている気がするが…。

-
- ・テクニカルアプローチに徹することを更に期待します。
 - ・環境に優しい省電力を実現して欲しい。
 - ・製品に活かして下さい。
 - ・省エネ、光害対策の面は理解できたが、器具のデザインについてはもう少し説明が欲しかった。
 - ・製造の継続性？
 - ・光公害への対応の重要さと、それへの技術的工夫について十分理解ができた。今後ともこのような地球にとってやさしい製品、商品の開発をお願いしたい。
 - ・照明については共通してメンテナンス対応のし易さが要件。（もし全てのものがすべて点灯しない最悪の条件を考えてみれば想像がつく）



会社名 株式会社 I N A X

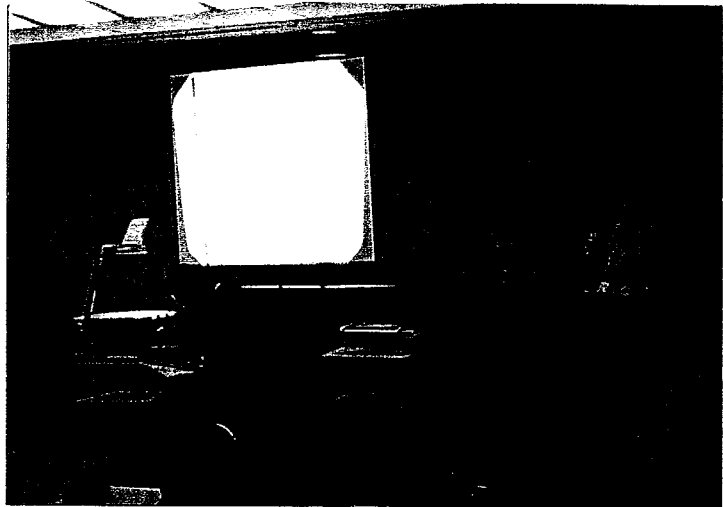
テーマ 人にやさしい街づくり 公共空間床編

所在地 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-10-5

TEL 03-5541-7077

FAX 03-5541-7059

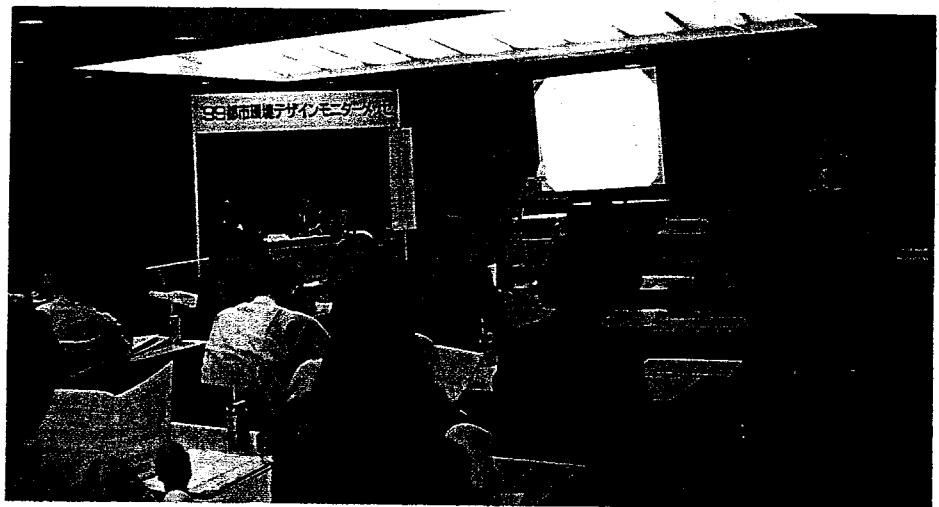
プレゼン
担当者 永松明子



◆アンケート結果

- ・立派です。
- ・杖の方は誘導ブロックの上を歩いていますか？ 横を歩いていませんか？
- ・視覚障害の内容について、更に広い範囲で検討して下さるよう期待します。床面だけでなく空間構成、部位との関係なども含め検討して頂きたい。
- ・メーカーの資料としては素晴らしい。
- ・研究成果の活用、他者の意見等から自社の主張を持つことは大変に好感が持てる。また誘導するという目的が障害のあり方によって利害がある点も事実であり、利用頻度、確率という点も加味した現実的理解のための協議の場づくりの上での構造を更に望みたい。
- ・よく研究され、商品化されている。非常に重要な提案である。
- ・視覚障害者以外の弱者への配慮事項も考えると難しいこともある。
- ・非常にわかり易い実施例でした。
- ・非常に有用な資料である。次は視覚障害者対応以外（車椅子、景観など）からの検証が必要である。視覚障害者対応についても誘導ブロックだけでなく選択肢、もしくは組み合わせといった検討が期待される。
- ・良い研究です、続けて下さい。視覚障害と対立するのは肢体不自由者の他にも考えられますか？
- ・公共空間における舗装表面のあり方をノーマライゼーションの観点から基礎的に取り組み、その結果を商品に活かしている点は大いに評価できる。今後も是非継続して欲しい。
- ・素晴らしい研究。是非日本全体の規格統一のためにも、研究会等の活動を期待します。
- ・ありがたいお話です。もう少し聞きたかった。身障者は見えているのであまり問題はない。身障者は他でも対応できる。（車椅子等）
- ・設計に入れるのに裏付けのある研究として役立つものと考えます。
- ・視覚障害者だけでなく、肢体障害者用にも良いというデータが欲しいです。
- ・障害者用ブロックはまだ問題が大きい。研究の価値は認めるが結論には多少異論がある。
- ・勉強させてもらいます。
- ・使い易いパンフレットづくりなどに企業姿勢が感じられ、好感が持てました。
- ・努力買います。このような積み重ねは貴重です。JUDI内外の専門家、身近な素人の意見から「課題」「選択の幅」「総合化に向けてのトレードオフ」をあわせて整理しておく素晴らしいものになる。

- ・なかなか難しくても努力が必要な資料だと思います。努力に敬意を表します。
- ・よく研究されている。点字ブロックは実用的ではあるが、景観の面ではどうだろうか？
- ・色彩等、場所とのかかわりについても今後検証してほしい。
- ・大変わかり易かった。
- ・非常に研究されていて参考になる。
- ・地味ではあるが素晴らしい研究です。
- ・わかり易い説明でした。INAXさんだけでなく、業界として統一された方が良いと思います。
- ・カタログとしてではなく、JUDIの出版物にしたい。
- ・視覚障害者から線状ブロックが不安であると聞かされました。施工例は参考になりました。
- ・わかり易いパンフレットを有り難うございました。
- ・更に研究を続けて下さい。
- ・良くできている。
- ・今後ともこのような確実な研究と、製品化への努力を期待したい。
- ・ハンディキャップの人々の意見、感想に基づくものとすれば国内はもとより、国際規格化すべきだろう。
- ・大変真剣に環境について取り組まれているように思います。何点もの試作品の中から選ばれたということ
で確かなものだと思いますが、識別率（何人にアンケートをとったのか）も明記されているとより説得力
があると思います。昨年も1冊頂いて大変参考になりました。有り難うございました。



会社名 日本電池株式会社

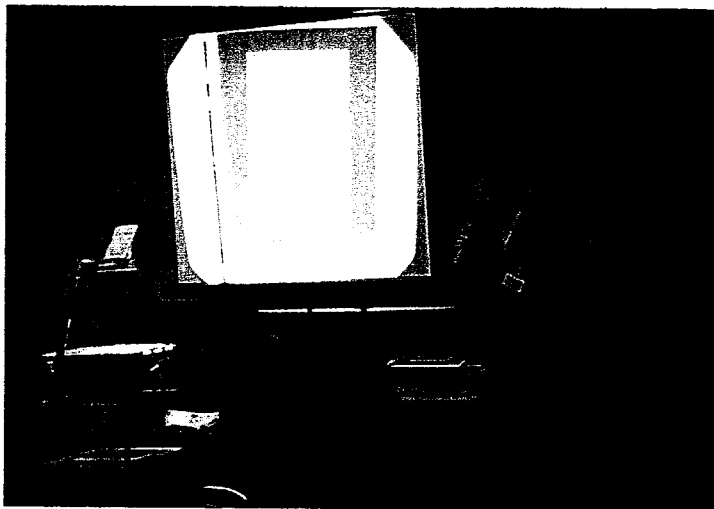
テーマ 新型ソーラーライト

所在地 〒105-0003 東京都港区西新橋1-8-1

TEL 03-3502-6550

FAX 03-3502-6551

プレゼン 吉村健二 渡辺 稔
担当者



◆アンケート結果

- ・風力は使わないの。縦軸の風車をポールと同調させたら併用は不細工である。
- ・ソーラーライトの必要とする背景や環境、立地条件などについて明確に限定して、ものの価値や役割を示すことが適切では。(防災性、地域立地性などを示す)
- ・太陽電池の照明は経済性より非常灯ではないか？
- ・まだデザインがデザインになっていないと見える。地球環境、CO2排出量という点からソーラーパネルが良いかどうかの追求がまず第一。これが良いとして、パネルの形状等に更なる変化が不可能かどうか。工場ライン、技術だけで決められている面もあるのではないかと。単に小さくすれば良いという問題だけではない。
- ・商用電源併用という新しいコンセプトは、クリーンエネルギーの利用量拡大につながる提案と考える。
- ・だいぶスマートになったと思うが、まだ形のデザインの改良の余地がある。一度しっかりデザイナーに頼んでGマークがとれるくらいのものを出したら。
- ・ソーラーの時代。場所によってはこれでなければ、です。頑張ってください。
- ・補助金は出るのですか？
- ・ソーラーエネルギーの活用は社会的な要請である。あとは効率の問題であろう。商用電源との併用ではあまり使う気になれない。デザイン上(景観上)の課題は、未だ解決されていないように思われる。
- ・パネルはやはり目立たない所に集約した方が良いと思う。
- ・21世紀に向け必要な技術、早く完成されることを祈る。
- ・ぜひ、総エネルギー比較かコスト比較の中で、省エネで環境に優しいというデータ根拠が欲しい。
- ・ソーラー別置を考えれば、配線工事等が無い。ソーラーだけの方が良い。商用電源、夜間は捨てている。(安い)環境的には夜の電気使用は問題ないのでは？
- ・最低限の機能は必要だが、やはりデザインを無視したものはいただけない。随分改善されたものと思います。
- ・努力は大変結構です。ただデザインにもっと工夫すれば素晴らしいものができるはずですよ。
- ・技術的にはまだ開発余地が大きそう。特にバッテリーはもっと小さくなる。家庭用には実用性がある。
- ・軽く小型化する努力だけでなく、立体的造型としてボリュームのあるものを考えてみては。
- ・デザイン改良の努力は認めますが、商用電源との併用を追求するよりもやはりモニュメント的なライトへ

の追求をして頂いた方が、最終的には成功すると思います。

- ・ソーラーの主旨から、現状（明るすぎるが多い）に対し、暗くてもいいことなどを特色として良い。バッテリーも小さくしてパネルと組み合わせると気にならない。
- ・まだまだデザインが必要だと思う。
- ・完成型が見えているので、ぜひ頑張ってください。
- ・逆に公園等で照明用の専用ソーラーパネルを設置できないか。
- ・ランニングコストがどの程度かかるのか？
- ・パネルを小さくすることに拘わらなくても良いのではないのでしょうか。クリーンエネルギーであるので大きくても当然。小さくすることに拘わって商用を使うことは大いに矛盾している。
- ・シリコンソーラーパネルに拘わるのではなく、アモルファスも研究対象とすべきではないのでしょうか。
- ・パネルのデザインが画一的。
- ・商用電力とソーラーの併用のメリットは。商用電力線あるのなら、何故ソーラーを導入するか疑問。
- ・3年前の型に比べると、ずっとスマートになりました。
- ・開発中ということですが、デザインが今一つでは。
- ・技術レベルの工夫について充分理解された。この検討の結果より、よき製品化を願いたい。
- ・「技術」は「美」に昇化されねばならない。その為の努力を。「自然」の形にはデザインの参考になるものがあると思います。デザインにはユーモアのセンスがあっても良いと思います。
- ・先の3社が取り組まれているように、ソーラー部分を上部に明かりを漏らさないような形に変更すれば、より良い照明器具になると思います。バッテリー部分は、地中に埋めるとかポールの中に入れるのは難しいのでしょうか？



会社名 ヨシモトポール株式会社

テーマ 特殊な骨材を使ったボラード

所在地 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-10-1

TEL 03-3214-1552

FAX 03-3212-1751

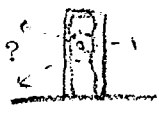
プレゼン 三石 傑 大島大八
担当者 飯島秀雄



◆アンケート結果

- ・色の件、改良して下さい。
- ・リサイクルはもっと別展開を望む。そのまま使う方法は？
- ・リサイクル商品を目指すのは結構ですが、他社や他の製品のリサイクルではなく、自社、関連の中でのリサイクル製品や技術開発を望む。
- ・リサイクルの考え方は進めて欲しいが、パンフレットの色はどうかした方が良いのでは。
- ・ガラス・カレットの色別で活用しているものは、色がどぎつい。趣味が悪い。ホタテの活用という方が冗談のようで面白く、使われることがありそう。景観にユーモアが必要な面もある。
- ・デザインの自由度が不明。色が悪い。もう少しバリエーションが必要。
- ・ホタテ貝は面白い。ガラスは色がきつい。
- ・色々やられてますね。地域性、リサイクルなど時代に合わせての頑張り、これからもますます努力して下さい。
- ・全てリサイクルにすることは、非常に良いと思います。
- ・カレットの活用は評価できる。カレットの密度が高い気がする。カレットの粒子が均質であり面白くない。色のバリエーションにも期待したい。もう少しデザインマインドのある商品も欲しい。(例えば倉俣テラゾーのようなイメージのもの)
- ・良いことです。
- ・ガラス・カレットを遠心成形でうまく使用している。廃棄物リサイクルを更に進めて欲しい。
- ・縁石など注意喚起用にアクセントとして用いることが考えられる。貝入りは面白い。地域性も表現しやすい。
- ・廃棄物の有効利用は大変結構なことですが、やはりデザインに配慮して欲しいと思います。
- ・色にもう一工夫！
- ・環境面から重要な技術で評価できる。デザイン性、特に色に対する工夫が必要では？
- ・努力に関しては敬意を表すが、色調としては疑問。色が生々しすぎる。(ワインボトル)
- ・ガラス骨材は色が問題。貝殻等の有機素材は大いに検討して下さい。
- ・色合いの違う素材を、馴染む色合いを出すように工夫して欲しい。
- ・苦勞はわかるが、まだかな…。

- ・ガラスの柱の大きさを変えていけば、よりデザイン性が活きるのでは？
- ・リサイクルということを手取りで取り込んでほしい。
- ・サンプルが綺麗。派手な印象は受ける。でも綺麗。
- ・エコマーク認定はどうですか？
- ・色が問題。
- ・廃棄物の利用という面では良識ある企業と思います。
- ・表面強度は？
- ・コンクリートの白華は？
- ・コンクリート混入は打放の方が良いのでは。撥水剤より親水剤の方が（？）
- ・ガラス骨材を大きくすると光るポラードをつくることも可能ではないでしょうか？
- ・ガレットは色が悪い。別な使い道を考えてはどうか。道路の二次製品とか。
- ・アルカリシリカ反応はどの様に反策をとっているか。
- ・今後ともリサイクル商品化への工夫、努力を期待したい。デザイン上の工夫が今後とも必要。
- ・ただ粉碎するだけなので省エネではあるが、色彩的には一考を要する。



'99都市環境デザインモニターメッセ参加会員

秋山 裕史 株式会社秋山環境デザイン研究所

石田 聖次 有限会社ライトシーン

伊藤 登 株式会社プランニングネットワーク

伊藤 光男 伊藤鉄工株式会社

伊藤 洋 有限会社CAU・プランニング

井上 正良 株式会社アーバンデザインコンサルタント

井口 勝文 株式会社竹中工務店開発計画本部

大久保 裕文 有限会社大久保計画アトリエ

大野 功 東芝ライテック株式会社

大森 高樹 株式会社熊谷組 東京支店

岡田 秀夫 日本軽金属株式会社景観エンジニアリング 事業部

岡本 嘉久一 株式会社I N A X 建材事業部建材商品開発室

折井 徹 株式会社キャストデザイン研究所

柏原 幸雄 黒崎窯業株式会社 景観材事業部

加藤 源 株式会社日本都市総合研究所

金井 欣一 セントラルコンサルタント株式会社

上井 正之 株式会社オリエンタルコンサルタンツ

久木田 禎一 株式会社邑計画事務所

窪田 陽一 埼玉大学工学部建設工学科

'99都市環境デザインモニターメッセ参加会員

倉田 直道	株式会社アーバンハウス都市建築研究所
小浪 博英	建設省 土木研究所
坂本 進	株式会社TAKイーヴァック
作山 康	株式会社都市環境研究所
櫻井 淳	株式会社櫻井淳計画工房
佐々木 政雄	株式会社アトリエ74建築都市計画研究所
澤田 晴委智郎	株式会社澤田造景研究所
白石 高啓	ユニテ設計事務所
須永 倣子	株式会社TALLO都市企画
関根 伸夫	株式会社環境美術研究所
高波 和由	アスザック株式会社
高橋 志保彦	神奈川大学工学部建築学科／高橋志保彦建築設計事務所
谷 明彦	金沢工業大学 環境・土木・建築系
地福 由紀	株式会社アトリエ福
土田 旭	株式会社都市環境研究所
中井川 正道	株式会社G K設計 都市環境設計部
中尾 隆太郎	日本電池株式会社照明事業部技術課
中野 恒明	株式会社アプル総合計画事務所
永松 明子	株式会社I N A X建材事業本部へゝスプランニング課

'99都市環境デザインモニターメッセ参加会員

南條 道昌	株式会社都市計画設計研究所
西沢 健	株式会社G K設計
西村 政昭	日本電池株式会社照明事業部
府川 充	株式会社G K設計地域計画部
松井 雅彦	株式会社横浜みなとみらい21
丸茂 弘幸	関西大学工学部建築学科
宮城 俊作	千葉大学緑地環境学科
宮前 保子	京都造形芸術大学
祐乗坊 進	有限会社ゆう環境デザイン計画
横川 昇二	株式会社横川環境デザイン事務所
吉田 慎悟	株式会社カラープランニングセンター
吉田 八郎	太平洋セメント株式会社 営業技術部
吉田 洋	株式会社森俊偉+ARCO建築・計画事務所